

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.10 >

～各学校の実践紹介～

優れた成果のあった学校を年度末に選定し、「グッドプラクティス」として顕彰します。

袖ヶ浦市立平岡小学校幽谷分校

パラアスリート
への「おもてなし」



障害のある
方との交流

相互に支え合い、認め合える心を育てる交流

- 『I'mPOSSIBLE』日本版教材の活用後、パラアスリートと交流を実施
また、パラアスリートに感謝の気持ちを伝えるため児童による幽谷分校伝統の一輪車披露で「おもてなし」を実施
- 近隣の障害者福祉施設との「ホタルの育成」に関する交流や草刈り、芋掘り等、軽作業を通じて協働活動を実施

[児童の感想]

- ・これからは、できないと思っていたことも工夫したり、試したりしながら頑張りたい。
- ・障害の有無に関わらず、意見を出し合いたい。
- ・どう接して良いか分からず、難しかった。
- ・お互いにもっと慣れれば、お話もできそう。

「共生社会」の体験活動・調べ学習

- パラアスリートを講師としたパラスポーツ(車いすバスケットボール)体験や、専門学校と連携した車いす介護体験を実施
- 障害の種類やバリアフリー、ユニバーサルデザインについて、個人でテーマを設定し、タブレット端末や本を活用して調べ学習を実施

[児童の感想]

- ・車いすバスケットボールに興味を持った。
- ・障害に関係なく、目標を持って頑張ることが大切だと感じた。
- ・介助が必要な人たちの気持ちが分かった。

流山市立西初石小学校



車いす介護体験
の様子



調べ学習の様子

「グッドプラクティス」の顕彰とは

心のバリアフリー教育の取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「グッドプラクティス」として県教育委員会教育長が顕彰し、賞状および記念品を授与します。

ご応募をお待ちしています。

※令和4年5月12日付け教政第74号【心のバリアフリー教育グッドプラクティスへの応募について（依頼）】参照

お問い合わせ先

企画管理部教育政策課

電話043-223-4177